【添付書類】

1　法人にあってはその登記事項証明書

別添のとおり

2　主として販売する物品の種類

	小売業を行う者の氏名（名称）	主として販売する物品の種類
1	株式会社コスモス薬品	住・生活関連品

3　建物の位置及びその建物内の小売業を行うための店舗の用に供される部分の配置を示す図面
別添「図２　周辺見取図」「図３　建物配置図」「図４　平面図」のとおり

4　必要な駐車場の収容台数を算出するための来客の自動車の台数等の予測の結果及びその算出根拠

〔指針により算出する場合〕

事　項　等		必要駐車台数等	各事項算出のための計算式等
店舗の来客者	地区の区分	その他地区	工業地域
	S:店舗面積	１．３３２千㎡	1,332 ㎡→1.332 千㎡
	A:店舗面積当たり日来客数原単位	１，０６０人/千㎡	人口 40 万人未満、S＜5 1,100－30Ｓ 横須賀市人口令和 8 年 9 月 1 日現在　361,116 人
	B:ピーク率	１４．４％	指針により
	L:駅からの距離	約１５００ｍ	（駅名：京浜急行久里浜線 京急久里浜駅）
	C:自動車分担率	７０％	人口 10 万人以上 40 万人未満、その他地区
	D:平均乗車人員	２人／台	10,000 ㎡未満
	E:平均駐車時間係数	０．６２２	(30+5.5×S)/60
	F:必要駐車台数	４４台	Ａ×Ｓ×Ｂ×Ｃ÷Ｄ×Ｅ
その他の施設等の利用者	従業員通勤車両用	０台	別途敷地内駐車場に５４台確保
	業務用車両用	０台	なし
	搬出入車両用	０台	荷さばき施設内に別途確保
	併設施設の車両用	０台	なし
	その他	０台	特になし
	Ｇ：その他の施設等必要駐車台数計	０台	
必要駐車台数合計		４４台	Ｆ＋Ｇ
届出収容台数合計		４４台	－

5　駐車場の自動車の出入口の形式又は来客の自動車の方向別台数の予測の結果等駐車場の自動車の出入口の数及び位置を設定するために必要な事項

(1) 年間の平均的な休祭日のピーク１時間に予想される来客者等の自動車の方向別台数の算出

項目		予測来台数（台）	予測来台数の算出根拠
店舗の来客車両		７１	指針による計算 ドラッグコスモス久里浜店新設計画に伴う交通計画書ｐ７参照
その他の施設等の利用者	従業員通勤車両	０	従業員ピーク入庫なし
	業務用車両	０	なし
	搬出入車両	０	ピーク時の荷さばき車両なし
	併設施設の車両	０	なし
	その他	０	特になし
予測来台数合計		７１	
駐車場入口	入口１	６０	ドラッグコスモス久里浜店新設計画に伴う交通計画書ｐ８参照
	入口２	１１	
	予測来台数合計	７１	

(2) 駐車場の自動車の入口の形式

① 年間の平均的な休祭日のピーク１時間における駐車場の入口の入庫処理能力

駐車場入口	予測来台数（台）	入庫処理能力（台/ｈ）	入庫処理能力算出のための計算式等
入口１	６０	４５０	３６００秒÷８秒/台
入口２	１１	４５０	３６００秒÷８秒/台
合計	７１		

※算出計算に用いた８秒/台は指針による数値
※入庫ゲートは設置なし

② 敷地内駐車待ちスペース

駐車場入口	駐車待ちスペース（m）	必要な駐車待ちスペース	
		長さ（m）	算出根拠
入口１	０	０	※下記算出根拠
入口２	０	０	※下記算出根拠

・「駐車場内の車路等に必要なスペース」＝（当該入口の１分当たりの来台数（「ピーク１時間に予測される来客の自動車の台数」/60 分）×1.6－当該入口の１分当たりの入庫処理可能台数）※1×6m（平均車頭間隔）
※1：平面自走式駐車場１分間の入庫処理能力＝60 秒÷8 秒＝7.5 台/分（1 台 8 秒）
・入口１の「駐車場内の車路等に必要なスペース」
　＝（(60 台/60 分）× 1.6 － 7.5 台/分）×6m = -35.4≦ 0
・入口２の「駐車場内の車路等に必要なスペース」
　＝（(11 台/60 分）× 1.6 － 7.5 台/分）×6m = -43.24≦ 0

6　来客の自動車を駐車場に案内する経路及び方法

項目		具体的な内容
自動車の案内経路		別添「図１　広域見取図」「図２　周辺見取図」のとおり
自動車の案内方法		
	看板等の設置	店内に経路案内図を表示する。駐車場出入口１及び出入口２付近に右折入出庫禁止看板を設置予定(図３　建物配置図に図示)
	交通整理員の配置	配置場所：駐車場出入口１及び出入口２付近(図３　建物配置図に図示) 人数、配置日時等：オープン時については、誘導員を駐車場出入口１及び出入口２付近に配置し路上滞留車が生じないよう必要な規制、誘導等を行う。通常時は必要に応じて適宜誘導員を配置する。 （図３　建物配置図に図示） 荷さばき施設については、必要に応じて適宜従業員等を配置し、誘導等を行う。
	チラシ等の配布	販売促進チラシに店舗の案内図を記載し、図中に経路を表示する。
	その他	特になし

7　荷さばき施設において商品の搬出入を行うための自動車の台数及び荷さばきを行う時間帯

時間帯	搬出入車両				延べ作業時間（分）
	１０ｔ車両（台）	2ｔ車両（台）	廃棄物車両（台）	合　計（台）	
6：00～7：00	1	0	0	1	20
7：00～8：00	0	0	0	0	0
8：00～9：00	0	0	0	0	0
9：00～10：00	0	0	1	1	10
10：00～11：00	0	0	1	1	10
11：00～12：00	0	1	0	1	10
12：00～13：00	0	0	0	0	0
13：00～14：00	0	0	0	0	0
14：00～15：00	0	0	0	0	0
15：00～16：00	0	0	0	0	0
16：00～17：00	0	0	0	0	0
17：00～18：00	0	1	0	1	10
18：00～19：00	0	1	0	1	10
19：00～20：00	0	0	0	0	0
20：00～21：00	0	1	0	1	10
21：00～22：00	0	1	0	1	10
合　　計	1	5	2	8	

荷さばきを行う車両１台当たりの平均的な荷さばき処理時間は、既存店舗実績より設定。
10t 車：20 分　2t 車：10 分　廃棄物車両：10 分

荷さばき処理能力

同時作業可能台数	1 時間当たりの荷さばき処理能力
1 台	3 台

8　遮音壁を設置する場合にあっては、その位置及び高さを示す図面
遮音壁の設置は、ありません。

9　冷却塔、冷暖房設備の室外機又は送風機を設置する場合にあっては、それらの稼働時間帯及び位置を示す図面

騒音発生源			騒音レベル(dB)	根　拠	騒音継続時間及び騒音発生回数	位置
換気扇	F-1	ファン	42.5	メーカー値(機側1m)	8:30～22：30	
	F-2	ファン	42.5	メーカー値(機側1m)	8:30～22：30	
受電設備	C-1	キュービクル	59.0	メーカー値(機側1m)	24時間	
室外機	R-1	冷凍室外機	48.0	メーカー値(機側1m)	24時間	別添　図7　騒音予測に関する図面のとおり
	R-2	冷凍室外機	49.0	メーカー値(機側1m)	24時間	
	R-3	冷凍室外機	49.0	メーカー値(機側1m)	24時間	
	R-4	冷凍室外機	56.0	メーカー値(機側1m)	24時間	
	R-5	冷凍室外機	56.0	メーカー値(機側1m)	24時間	
	S-1	空調室外機	53.0	メーカー値(機側1m)	8:30～22：30	
	S-2	空調室外機	55.0	メーカー値(機側1m)	8:30～22：30	
	S-3	空調室外機	63.0	メーカー値(機側1m)	8:30～22：30	
	S-4	空調室外機	63.0	メーカー値(機側1m)	8:30～22：30	
	S-5	空調室外機	66.0	メーカー値(機側1m)	8:30～22：30	
	S-6	空調室外機	66.0	メーカー値(機側1m)	8:30～22：30	
	S-7	空調室外機	66.0	メーカー値(機側1m)	8:30～22：30	
	S-8	空調室外機	66.0	メーカー値(機側1m)	8:30～22：30	
	S-9	空調室外機	66.0	メーカー値(機側1m)	8:30～22：30	
	S-10	空調室外機	66.0	メーカー値(機側1m)	8:30～22：30	
	S-11	空調室外機	66.0	メーカー値(機側1m)	8:30～22：30	
	S-12	空調室外機	66.0	メーカー値(機側1m)	8:30～22：30	
	S-13	空調室外機	57.0	メーカー値(機側1m)	8:30～22：30	
	S-14	空調室外機	57.0	メーカー値(機側1m)	8:30～22：30	
	S-15	空調室外機	61.0	メーカー値(機側1m)	8:30～22：30	

10　平均的な状況を呈する日における等価騒音レベルの予測の結果及びその算出根拠

（1）等価騒音レベルの予測の結果

時間の区分	予測地点			予測と評価	
	位置※	高さ[m]	用途地域	予測値[dB]	基準値[dB]
昼間 午前 6時 ｜ 午後 10 時	A	4.7	工業地域	51.7	60
	B	1.2	工業地域	51.5	60
	C	1.2	第一種住居地域	44.5	55
	D	1.2	工業地域	51.1	60
	E	4.7	工業地域	47.2	60
	F	1.2	第一種住居地域	45.2	55
夜間 午後 10 時 ｜ 午前 6時	A	4.7	工業地域	41.7	50
	B	1.2	工業地域	39.1	50
	C	1.2	第一種住居地域	30.9	45
	D	1.2	工業地域	34.4	50
	E	4.7	工業地域	34.5	50
	F	1.2	第一種住居地域	34.1	55

※別添「図７ 騒音予測に関する図面」のとおり

（2）等価騒音レベルの予測の算出根拠

別添「大規模小売店舗出店に伴う騒音予測結果報告書」のとおり

11　夜間において大規模小売店舗の施設の運営に伴い騒音が発生することが見込まれる場合にあっては、その騒音の発生源ごとの騒音レベルの最大値の予測の結果及びその算出根拠

（1）騒音発生源ごとの騒音レベルの最大値の予測結果

夜間最大値：店舗敷地境界

騒音発生源			設置場所	発生源高さ(m)	騒音継続時間または騒音発生回数	基準距離の騒音レベル(dB)		予測地点	予測地点までの距離(m)	距離減衰量(dB)	回折減衰量(dB)	予測地点における騒音レベル(dB)
						レベル(dB)	根拠					
定常騒音	C-1	キュービクル	1階屋根上	6.5	24時間	59.0	規格値	a3	15.1	23.6	－	35.4
	R-1	冷凍室外機	1階屋根上	5.8	24時間	48.0	メーカー値	e	10.2	20.1	－	27.9
	R-2	冷凍室外機	1階屋根上	6.1	24時間	49.0	メーカー値	a1	14.4	23.2	－	25.8
	R-3	冷凍室外機	1階屋根上	6.1	24時間	49.0	メーカー値	a1	16.0	24.1	－	24.9
	R-4	冷凍室外機	1階屋根上	6.4	24時間	56.0	メーカー値	a2	14.4	23.1	－	32.9
	R-5	冷凍室外機	1階屋根上	6.4	24時間	56.0	メーカー値	a2	16.0	24.1	－	31.9

各予測地点における夜間（午後１１時～午前６時）の最大騒音レベル		各予測地点における騒音規制法における夜間の規制基準値に基づく当該出店地の用途地域及び基準値	
夜間の最大騒音レベル		用途地域	基準値
予測地点a1	25.8 dB	工業地域	55dB
予測地点a2	32.9 dB	工業地域	55dB
予測地点a3	35.4 dB	工業地域	55dB
予測地点e	27.9 dB	工業地域	55dB

※予測地点について別添「図７ 騒音予測に関する図面」を参照

夜間最大値：合成値

騒音発生源			発生源高さ(m)	騒音継続時間及び騒音発生回数	基準距離の騒音レベル(dB)		予測地点までの距離(m) 各地点までの距離					予測地点における騒音レベル(dB)				
					レベル(dB)	根拠	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e
定常騒音	C-1	キュービクル	6.5	24時間	59.0	規格値	18.6	32.7	77.2	48.7	46.1	33.6	28.7	21.2	25.3	25.7
	R-1	冷凍室外機	5.8	24時間	48.0	メーカー値	25.0	50.4	86.4	28.8	10.2	20.0	13.9	9.3	18.8	27.8
	R-2	冷凍室外機	6.1	24時間	49.0	メーカー値	18.1	36.6	76.4	30.0	24.8	23.9	17.7	11.3	19.5	21.1
	R-3	冷凍室外機	6.1	24時間	49.0	メーカー値	19.4	35.2	74.8	29.0	25.4	23.3	18.1	11.5	19.8	20.9
	R-4	冷凍室外機	6.4	24時間	56.0	メーカー値	16.4	35.4	76.2	32.4	27.7	31.7	25.0	18.4	25.8	27.2
	R-5	冷凍室外機	6.4	24時間	56.0	メーカー値	17.8	33.9	74.6	31.5	28.2	31.0	25.4	18.5	26.0	27.0

夜間の最大騒音レベルの合成値		用途地域	基準値
予測地点a	37.5 dB	工業地域	55dB
予測地点b	31.9 dB	工業地域	55dB
予測地点c	24.9 dB	工業地域	55dB
予測地点d	31.4 dB	工業地域	55dB
予測地点e	33.5 dB	工業地域	55dB

※予測地点について別添「図７ 騒音予測に関する図面」を参照

（2）騒音発生源ごとの騒音レベルの最大値の予測の算出根拠

別添「大規模小売店舗出店に伴う騒音予測結果報告書」のとおり

１２　必要な廃棄物等の保管施設の容量を算出するための廃棄物等の排出量等の予測の結果及びその算出根拠

［指針より算出する場合］

施設全体

	算出根拠等						必要保管容量
店舗	廃棄物種別	S 店舗面積		A 一日当たりの廃棄物等の排出予測量（指針原単位×S）	B 平均保管日数（日）	C 見かけ比重（t/m³）	A×B÷C （m³）
	紙製廃棄物等	6,000 ㎡以下の部分	1.332 千㎡	（0.277056ｔ）	1 日	0.10	2.77
		6,000 ㎡超の部分	－	－			
				計 0.277056ｔ ｔ			
	金属製廃棄物等	6,000 ㎡以下の部分	1.332 千㎡	（0.009324ｔ）	1 日	0.10	0.09
		6,000 ㎡超の部分	－	－			
				計 0.009324ｔ			
	ガラス製廃棄物等	6,000 ㎡以下の部分	1.332 千㎡	（0.007992ｔ）	1 日	0.10	0.08
		6,000 ㎡超の部分	－	－			
			－	計 0.007992ｔ			
	プラスチック製廃棄物等	6,000 ㎡以下の部分	1.332 千㎡	（0.026640ｔ）	1 日	0.01	2.66
		6,000 ㎡超の部分	－	－			
			－	計 0.026640ｔ			
	生ごみ等	6,000 ㎡以下の部分	1.332 千㎡	（0.225108ｔ）	1 日	0.55	0.41
		6,000 ㎡超の部分	－	－			
			－	計 0.225108ｔ			
	その他の可燃性廃棄物等	－	1.332 千㎡	0.071928ｔ	1 日	0.38	0.19
	リサイクル関連	算出根拠					必要保管容量
		特になし					
	Ｄ：小売店舗必要保管容量計						6.20
その他の施設等	施設	算出根拠					必要保管容量
							－
	Ｅ：その他の施設等必要保管容量計						－
必要保管容量合計（Ｄ＋Ｅ）							6.20
届出保管容量合計							13.5